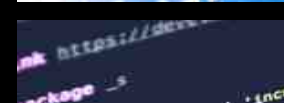


国立大学法人

徳島大学

2026.4

Administrative Operations



目次

- 01 徳島大学のビジョン
- 02 徳島大学の特色
- 03 事務組織
- 04 勤務条件・福利厚生・研修
- 05 選考スケジュール



01 徳島大学のビジョン

VISION

国立大学法人 徳島大学



深く輝く、未来を紡ぐ大学へ

「INDIGO宣言」

未来社会を照らす誠実で高潔な人格、地球規模の課題に立ち向かう斬新な発想と力強さ、この両者を身につけるための教育研究の場を提供し、社会の要請に応え続けます。そして再び、ノーベル賞受賞者を輩出したいと願います。性別、年齢、国籍、価値観などの多様性を前提に、誰も取り残すことなく受け入れて、学生や教職員の地力を最大限引き出せる大学運営を行います。「地球視点で考え、徳島発で行動する」大学として世界との交流を進め、教育研究に関する成果や課題を学内外と共有することで知の融合反応を促進し、「深く輝く、未来を紡ぐ大学」を目指します。

INDIGO

Integrity (誠実さ) Noble and Novel (高潔さと斬新さ) Dynamism and Diversity (活力と多様性) Inclusive (寛容) Global (世界へ発信) Open (開かれた徳島大学)

世界はかつてない速度で変貌を続けており、超スマート社会Society5.0への期待が高まる一方で、少子高齢化の加速、自然環境の悪化や感染症の拡大など、多くの不安が未来に影を落としています。このような複雑で高度な課題の解決に必要とされる人材を育成し、徳島県に位置する高等教育機関としてのあるべき姿を展望するため、「INDIGO宣言」を策定しました。これは、徳島大学が育成する人物像や目指す方向性を、学内外に向けて示したものであり、徳島大学の学生や教職員が進むべき路を選択するとき、徳島大学がどこに向かうかを問われたとき、「INDIGO宣言」がその指針となります。

かつて阿波の藍(INDIGO)は、品質向上への誠実な取り組みにより日本全国を席巻し、徳島(阿波)は、全国有数の都市を有する地域として繁栄しました。深く輝く藍色は世界の人々に「ジャパンブルー」と称され、我が国を代表する色として愛されてきました。加えて、防虫性、耐水性、薬効など、藍は多様な機能で人々の生活を豊かにし、社会の発展に貢献してきました。

そんな藍の染色では、さまざまな物質が共生する藍染(あいがめ)に生地を浸けてから外気にさらす工程を繰り返すことで、鮮やかな藍色があらわれます。これは徳島大学が目指す人材育成そのものです。多様なヒト、モノ、コトが行き交う中で学内外との交流を繰り返して人材が成長し、幅広い能力で社会に貢献する。本学はそのような学びの場でありたいと願います。

このような思いを込めた「INDIGO宣言」ですが、社会を取り巻く状況は時々刻々と変わり、より高次の夢が生まれる時代も来るはずです。その際は、臨機応変に宣言内容を再構築するべく、皆さまの建設的かつ徳島大学愛あふれるご意見を賜りますようお願い申し上げます。

徳島大学長
河村 保彦



徳島大学VISIONの骨子

今後は、このINDIGO宣言に基づいた数値・目標・計画である「徳島大学VISION」を策定し、大学一丸となって進んでいきます。

徳島大学VISIONについて



教育

進取の気風の醸成と未来を切り拓く人材育成



研究

イノベーションを創出するプラットフォームの構築



社会との共創

地域の中核となり、世界の課題を解決する社会連携の推進



医療

高度、先進、全人的医療の提供と人間愛に溢れた医療人育成



組織運営

魅力と活力ある経営体としての大学へ



02 徳島大学の特色

CHARACTERISTICS

国立大学法人 徳島大学



徳島大学の特色



ポストLEDフォトンクス研究所

未だ実用光源が存在しない未開拓波長領域「深紫外/テラヘルツ/赤外」の光源開発や光科学技術を用いて医療にアプローチする「医光融合研究」といった最先端の光科学研究に従事



最先端医療に関する研究

THE世界大学インパクトランキング2022
SDG3「すべての人に健康と福祉を」
→国内3位（国立大学1位）、
世界34位獲得



徳島大学の特色 2

地域連携・産学連携

- 日本経済新聞社「大学の地域貢献度調査2025」
→総合ランキング
777 国公立大学中 第3位（国立大学中第1位
（島根大と同順位）、2019年度以降4回連続の
全国第3位）

- 経済産業省「令和2年度産業技術調査
（大学発ベンチャー実態等調査）」
→「大学発ベンチャー企業数・前年度比増加率
（増加数）」第4位（国立大学第1位）

- 文部科学省「2020年度特許権実施等収入」
→全国 第6位



戦略④「大学改革」領域 大学ビジョンの実現のため事業成果を学内へ展開する

戦略①「研究強化」領域 光工学と医学、栄養学及び情報科学の融合を進める研究拠点設置

徳島大学全学から強みを選抜・集約

2017年より
研究クラスター制度/
異分野融合チーム型研究を運用
・累計8億円超の自己資金を投入

医学部(医学、医科栄養、保健)、
歯学部、薬学部、
総合科学部、
理工学部、
生物資源産業学部、病院

ポストLEDフォトンクス研究所

先端酵素学研究所

徳島国際サイエンス研究所

日亜化学工業の支援による国際協働研究所
※4年間で11件の国際共同プロジェクトを推進

テクニオン(イスラエル工科大学)との連携
AI・情報科学で九州トップクラス (AI・情報 世界200)

「AI・情報科学」分野の強化

テクニオン徳島フロンティア・コア設置

▶ AI・情報科学研究力強化・国際化

▶ グローバル情報人材育成

テクニオンのAI・情報科学研究者を招聘
大学院生を指導(高度情報専門人材の
確保に向けた機能強化)

研究の強みの融合

学術交流プログラム

強みを凝縮した研究拠点「IPHF」を設置
Institute of Photonics and Human Health Frontier

研究特区として、組織改革と集中的な資金投入により、研究力の
ピーク値の向上、研究活動の国際化、若手研究者育成を強力に推進

4つのイノベーション



卓越PIを大学自己資金を用いて12名選抜・招聘(新給与制度を整備)

テクニオン研究者の招聘、学際融合研究の推進

共用機器コアファシリティの充実(産学協働で整備)

豊富なスタッフ(URA、技術職員)による研究支援

卓越性発展の
ための研究

ポストLED光工学と
医学研究の融合(医光融合)による
医光健康デバイス開発

慢性炎症研究の創薬展開と
末期検出技術の開発

マイクロ光コム駆動型光
コンピューティングによる
超省電力・高速AI技術の開発

宇宙栄養学の
高齢者医療への展開

戦略⑤ 研究者及び研究支援人材の育成・採用・獲得

若手研究者: 研究エフォート100%の確保、30代前半からの卓越PIへの抜擢
博士 後 期: 複数メンターによるサポートの実施
博士 前 期: 次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)
学 部 学 生: 先端融合情報学プログラム(大学・高等機能強化支援事業)
: 医光/医工融合プログラム(特例的な定員増)

学内への波及

社会への展開

徳島大学

ビジョンを実現する、
大学改革と事業成果の波及

- ・地域中核大学としての大学経営力の強化
- ・研究力向上のための学内予算の再編成
- ・グッドプラクティスの学内への展開
- ・人事給与とマネジメントの改革と
新たな業績評価制度の整備

「マネジメント」

戦略②「産学連携・イノベーション創出」領域
スタートアップの創出・育成に向けた研究開発マネジメント

事業化フレームワークの導入と
グローバルなスタートアップエコシステムとの連結

- ・研究成果の事業化・国際展開に向けた体制整備
- ・大学産業院の機能強化と社会実装に向けた研究マネジメントの推進
- ・スタートアップ創出による研究成果の社会実装
(独自ファンドによるハンズオン支援)

徳島県民の健康改善に貢献

- ・生活習慣病の未病解析プラットフォームの確立
- ・個人の疾病リスク予測や健康行動の改善を促すシステムの開発
- ・加齢や慢性炎症に関連する疾患の発症・重症化予防対応の推進

「医光健康コンプレックス」への展開

- ・多種多様な健康状態を収集しサイバー空間に
伝送する医光健康デバイス
- ・健康ビッグデータの光駆動型超省電力・
高速AI解析基盤技術の開発

徳島県民の健康改善に貢献し徳島県と医光健康コンプレックスを実現

戦略④「大学改革」領域 イノベーションを生み出し続ける循環経路を確立し学内へ展開する

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

03 事務組織

ADMINISTRATIVE STRUCTURE

国立大学法人 徳島大学



徳島大学の組織



常三島地区

総合科学部
理工学部
生物資源産業学部
など



蔵本地区

医学部
歯学部
薬学部
など



新蔵地区

事務局



学 生 数：約7,500名

教職員数：約3,200名

事務職員数：約350名



常三島キャンパス



学部

総合科学部
理工学部
生物資源産業学部



大学院

創成科学研究科



附属施設等

附属図書館
ポストLEDフォトンクス研究所
キャンパスライフ健康支援センター
環境防災研究センター
情報センター 等



常三島キャンパス

地域創生課

地域連携関連業務、
公開講座や講演会の企画 等

国際課

国際交流に係る企画・立案
留学生の受入・派遣 等

学術情報部

附属図書館所蔵の図書の管理、
事務情報システムの管理 等

各学部総務係

教授会の運営、勤怠管理 等

各学部学務係、学務部

時間割・シラバスの作成、
履修登録処理、学生対応 等

教育支援課、学生支援課

教育に関する評価、教養教育、就職支援、
課外活動支援、授業料免除業務 等

会計課

物品等の調達、授業料収入の管理 等

研究・産学支援課

科研費申請補助、共同研究等の実施補助 等



蔵本キャンパス



学部

医学部
歯学部
薬学部



大学院

医学研究科
口腔科学研究科
薬学研究科
医科栄養学研究科
保健科学研究科



病院

医科
歯科



附属施設 等

先端酵素学研究所
AWAサポートセンター 等



蔵本キャンパス

総務系

学務系

会計系

研究推進系

病院経営企画課

病院予算の管理、施設整備 等

病院経理調達課

医療機器・医薬品の購入 等

病院医事課

診療報酬の請求事務
診療の労務安全管理、患者支援 等



新蔵地区（事務局本部）

総務系

総務課：大学行事の運営、広報 等
人事課：職員の採用、福利厚生 等

会計系

経理課：大学全体の予算執行処理、決算処理 等
資産管理課：大学資産の管理 等

研究推進系

研究・産学企画課：科研費申請補助、
共同研究等の実施補助 等

経営企画系

大学経営企画課：経営戦略の策定に係る企画立案、
予算編成 等
経営マネジメント課：大学の中期目標・
中期計画の作成 等

学務系

入試課：入学試験業務、入試広報 等

その他

監査室：組織の監査、調査、統計及び報告 等



04

勤務条件・福利厚生・研修

EMPLOYEE CONDITIONS,
BENEFITS and TRAINING

国立大学法人 徳島大学



勤務条件・福利厚生 — 労働時間・休暇 —



労働時間

8時30分～17時15分
(7時間45分/日)

休憩時間

12時00分～13時00分



休日

- 土曜日・日曜日（完全週休二日制）
※入試等で休日に勤務した場合は別の日に振替休日を取得可能
- 祝日
- 年末年始（12/29～1/3）

有給休暇

- 年次有給休暇：年間20日
(4/1採用者の場合、その年は15日)
- 病気休暇：病気やケガの療養のため、必要と認められる期間
- 特別休暇：リフレッシュ休暇（3日間）、結婚休暇、産前・産後休暇、忌引休暇 等

その他

育児休業、介護休業、
育児短時間勤務、
育児（介護）部分休業、
自己啓発等休業 等



勤務条件・福利厚生 —人事異動・出向—

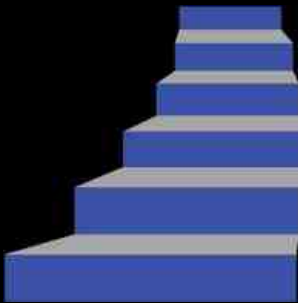


人事異動

採用時 : 欠員状況・本人の適性などを考慮し、決定

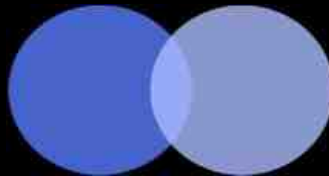
配置換 : 概ね2~3年毎

(本人の希望・適性・職務経験などを総合的に勘案)



昇進

勤務や経験を積みながら幅広い知識を培い、勤務成績などにより、主任、係長、副課長、課長、部長などの管理職に昇進



その他

鳴門教育大学・阿南工業高等専門学校に異動する可能性あり



研 修

階層別研修

新人職員研修、中堅係員研修、若手職員勉強会、係長研修、マネジメント研修、部課長研修 等

専門研修

法務関係研修、財務会計研修、資金運用に関する研修、知的財産権研修、病院職員研修 等

自己研鑽研修

パソコン講習会、情報システム統一研修、メンタルヘルス研修（セルフケア、ラインケア）、放送大学利用研修 等

派遣研修

文部科学省、大学改革支援・学位授与機構、日本学術振興会 等



勤務条件・福利厚生



給 与

初任給：学歴や採用前の職歴に応じて決定（約22万円以上）

昇給：一年間の勤務成績に応じて昇給



手 当 等

諸手当：通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当
等

賞 与：6月と12月の年2回支給



福利・厚生

- 文部科学省共済組合：病気・出産・災害等の際の給付制度、
団体積立終身保険事業 等
- 労働災害補償制度：業務上及び通勤途中の災害に関するの
補償制度
- 宿舍：単身用及び世帯用の宿舍（八万町、新浜町）



05 選考スケジュール

SELECTION SCHEDULE

国立大学法人 徳島大学



令和8年度 選考スケジュール

01

- 6月28日（日）
一次試験（教養試験）
（申込期間：
5月8日 10:00
～22日 17:00）
- 7月16日 9:30
一次試験合格発表

02

- 8月17日～19日頃
二次試験（事務）
（集団面接）※対面

03

- 8月27日～28日頃
二次試験（事務）
（個別面接）

※対面、対象は集団
面接合格者

04

- 内定（新卒者の
正式内定は10月
1日以降）
- 新卒者は4月1日
採用



中国・四国地区国立大学法人等職員採用試験HP(随時ご確認ください)

<https://jinji.hiroshima-u.ac.jp/shiken/>

